令和2年度 グローバル・スタートアップ・エコシステム強化事業 (グローバル・ベンチャー・サミット(仮称))

# 実施報告書

2021年9月30日 株式会社 博報堂

# 表紙

<b>事業内容・実施体制</b> ・事業内容 ・実施体制	•	•	•	•	•	2
<ul><li>(1) 本サミットの名称、ロゴマーク、テーマの設定 テーマ設定 名称 ロゴマークの考え方 ロゴマーク</li></ul>	•	•	•	•	•	5
(2) 各イベント事務局との調整等 Global Start-up Connection 連携イベント① <innovation garden=""> Global Start-up Connection 連携イベント② &lt; Japan Business Conference</innovation>					•	11
(3) <b>国際的に評価の高いスタートアップカンファレンスとの連携等</b> 海外カンファレンス:ABCとの連携	•	•	•	•	•	35
( <b>4</b> ) <b>パンフレット等の製作</b> パンフレット等の製作	•	•	•	•	•	42
(5) 特設ホームページの制作 特設ホームページ① <innovation garden=""> 特設ホームページ② <japan 2021="" business="" conference=""></japan></innovation>	•	•	•	•	•	45
(6) 広報活動 広報活動① <innovation garden=""> 広報活動② <japan 2021="" business="" conference=""></japan></innovation>	•	•	•	•	•	50

1



Society5.0の実現に向けて、日本のスタートアップ・エコシステムを強化し、世界で勝てるスタートアップを創出するため、世界中から一流の経営者、起業家、ベンチャーキャピタル、機関投資家等を招き、本事業を契機として、海外投資家による日本スタートップへの投資の呼び込み、大企業とスタートアップによるオープンイノベーションの促進、日本流イノベーションカルチャーの育成等を目指す。

### 事業内容

(1) 本サミットの名称、ロゴマーク、テーマの設定

事業の目的を鑑み、本サミットの名称及びロゴマークを設定。また、期間中に開催される全てのイベントに一体感が出るよう、一気通貫するテーマを設定

(2) 各イベント事務局との調整等

民間・政府系イベント等のイベント事務局と密に調整を行い、テーマに沿ったパネルディスカッション、カンファレンス、 ピッチイベント等を提案、開催するとともに、招待者、登壇者、審査委員等の選定、アポイントメント、調整、旅費・謝礼 の支払い等を行う。



# (3) 国際的に評価の高いスタートアップカンファレンスとの連携等

海外で開催されているスタートアップカンファレンスを誘致することにより、国際的に評価の高い国内のイベント内で 日本式のイノベーションを発信できるよう、以下の要領で開催

- ①J-Startupブースの設置
- ②J-Startup企業等によるピッチイベント
- ③オープンイノベーションを目的としたマッチングイベント
- ④会場の選定等

### (4) パンフレット等の製作

必要に応じて電子パンフレット等を作成

# (5) 特設ホームページの制作

本サミットに係る特設ホームページを制作して広報活動を行う。必要に応じて参加者の申込フォームなどを作成

### (6) 広報活動

本サミットの認知度、存在感、印象等の向上につながる広報活動を実施。特に、ホームページ等における情報発信の他に、各メディアへのパブリシティ獲得活動を行い、露出の拡大による認知度の上昇、印象等の向上を目指す

### 事業日程

令和2年7月7日~令和3年9月30日

# ·HAKUHODO• Global Startup Connectionを担当するチーム 業務統括責任者 小澤賢晴 GSC全体統括 根本豊・浜野良太・菅井友香 エグゼクティブクリエイティブディレクター 博報堂ケトル 木村健太郎 リエイティブディレクタ 木原龍太郎 アートディレクター 小山秀一郎 コピーライター 小笠原健 UXデザイナー 宮永 充晃

### 博報堂社内

Innovation Garden事務局

### ●総合統括

- ■SIGNING
- 亀山淳史郎
- 南俊輔
- 大宮翔
- 小熊佳子
- 愛知美絵

### ●各カンファレンス連絡推進担当

- ■ブランドイノベーションデザイン局
- 竹内慶
- ・田中れな 他3人
- ■kyu
- 武田博男
- 渡辺真梨子 他2人
- ■マグネット
- 佐藤勇介
- ·山寺純 他2人

### ①会場/空間デザイン/体験設計

SAWS CREATIVE OFFICE



**B** NOMURA

▲ 三菱地所設計

### ②PRコンテンツ制作 国内・海外



Hakuhodo DY media partners

讀賣新聞





### ③連携企業



RICOH döcomo

讀賣新聞



三井住友銀行

4海外カンファレンス事務局

品 ARS ELECTRONICA

BORDER SESSIONS



(1) 本サミットの名称、ロゴマーク、テーマの設定

# Co-living with Planetary issues

ウィズコロナ時代に欲求される社会、産業、生活の変革と 連帯。

人類規模でのイシューの数々に対して、国や業界、立場を超えた新たな解決策を探索する。組み合わせて磨き上げる日本流イノベーションで大企業・スタートアップ・投資家を繋ぎ、「共生/Co-living」によるウィズコロナ時代の世界再築を推し進める。

自然との共生/CLIMATE CHANGE (BOSAI)

高齢化との共生/AGING

地域社会との共生/LOCALITY

技術との共生/SINGULARITY

Global

Summit



WITH COVID-19時代に求められる<u>新たな連帯</u>を生み出す交流点

世界中から一流のビジネスプレイヤーが集まる

Connection

# Global Venture Summit (仮称) からの強化ポイント

一握りの人間による首脳会談の印象が強い。

Venture ビジネス成長・収益拡大の印象が強い。

Start-up イノベーションと新しいビジネスモデル創出の印象を強調。

Start-up 多種多様な価値観とアイデアが交差するオー

プンディスカッション拠点として特徴を強化。

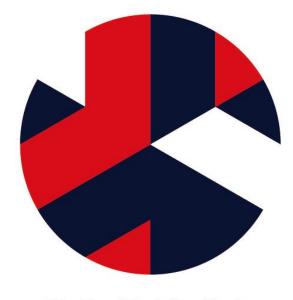
# 「木組み」をモチーフに。

クギを使わずに木材だけで建物を作る 日本の伝統技術「**木組み**」をモチーフに意匠化。



異なる性質を見極め、しなやかに強く美しく繋ぐ 日本流CONNECTIONを表現。





# GLOBAL START\_UP CONNECTION

### ロゴマーク制作の発想プロセス

- 様々な角度から交差する線が連結して円を描く「新たな連帯」を意匠化。 異なる性質を強く美しく繋げる木組み発想をシンボリックに表現。
- 立体構造物をモチーフにしたデザインの連結部分にフォーカスして 生まれたロゴ案。見方によっては陰影が入り立体的にも見える。

● 赤、白、紺の組み合わせで和色の組み合わせで日本らしさを担保しつつ、 現代的・先進的を印象付ける配色バランスを心掛けた。



100年続けられるか。

それがスタートアップにさえ求められる時代です。 いや、100年ずっとスタートアップでいる。

そんな新たな価値を創造し続けるあり方が 求められている時代なのです。

変化の時代を生き抜くために必要なのは2つ。

あらゆる衝撃に耐えうるレジリエンス。

そして、ボーダーレスなクリエイティビティです。

地球規模のイシューに対し、国境も業界も業種も超えて、

しなやかに強く美しくつながることが武器になります。

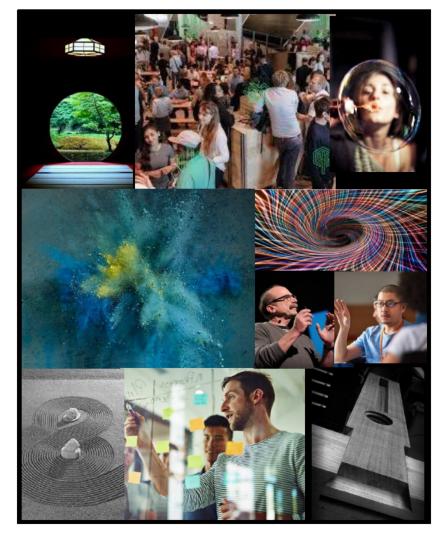
異質なものを取り込むことが進化につながる。

お互いの強みを活かし合えば、とてつもない力を発揮する。

その力のかけ合わせこそが、1を100の価値に変えるのです。

日本の歴史が、文化が、それを証明しています。

さあ、新しい「和」の力で、イノベーションを。



(2) 各イベント事務局との調整等

# <Global Start-up Connectionを象徴するイベント。 Co-living with Planetary issuesのテーマを参考に開催>



### イベント概要

\*タイトル:INNOVATION GARDEN (オンラインイベント)

\*日程:2021年2月26日(金)

\*開催時間:10:00-22:00

\*主催:Innovation Garden実行委員会 (博報堂・三菱地所・読売新聞)

\*後援:経産省

\* 収録会場:3×3 Lab Future (大手町)

빌 ARS ELECTRONICA

BORDER SESSIONS 72

3つの世界最先端の海外カンファレンスが創造的に融合したクリエイティブな体験を通じて 日本流イノベーションカルチャーを育成・発信するビジネス・イノベーション・カンファレンス。

# Global Start-up Connection 連携イベント① < INNOVATION GARDEN >



# INNOVATION GARDEN

-Co-living with Planetary Issues-

### 世界のトップ・ビジネスカンファレンスを招致し 日本の将来を担う新規事業を生み出す空間をつくりだす。

博報堂が中心となって世界の最先端ビジネス・カンファレンスを複数にわたって招致し 大企業からスタートアップまで、新規事業創造に関心のあるさまざまなジャンルの ビジネスパーソン/イノベーターが一堂に会することで 日本の未来を担うイノベーティブで新しいビジネスが生み出される空間となります。

### 世界最先端のイノベーション知見で これまでにないクリエイティブなビジネスイベントを。

わたしたちはこれまで日本で中心的だった旧来型のビジネスカンファレンス、 すなわち一方的な講演と形式的な名刺交換だけの交流会を避ける必要があります。 世界のトップイノベーターたちからイノベーションに関する刺激や知見を得ることで 従来のカンファレンスとは異なるクリエイティブなビジネスイベントにします。

### 2020年・コロナ明けの日本のしなやかな経済復興を、 晴海から世界に向かって発信。

2020年、突如として世界を襲ったコロナウイルス。 五輪延期など、その影響は広く世界経済に重大なインパクトを与えています。 この危機をまえに、日本は何をすべきでしょうか? それはしなやかに立ち上がる姿を、世界に見せることだと私たちは考えます。 地震、洪水、津波…たくさんのdisasterから幾度となく復興してきた日本人の心には、 経済的・精神的なresilience = しなやかな強さが備わっています。 コロナショックの年に、日本から世界に向かって経済の未来を発信する。 そのことは単なる日本の国際社会へのアピールを超えて、世界経済の希望となるでしょう。

### 世界同時オンライン開催という、ポストコロナ時代の ビジネスカンファレンスの新しいスタンダードを提案。

コロナが私たちにもたらしたもの、それは新しい"つながり"のかたち。 ソーシャルディスタンスを組み込んだ新しい「出会い」のデザインを通じて これからのビジネスカンファレンスの世界基準を提案します。

\*タイトル:Innovation Garden

\*日程:2021年2月26日(金) \*形態:オンライン配信

\*開催時間:1000-2200

\*主催:Innovation Garden実行委員会(博報堂・三菱地所・読売新聞)

🙏 三菱地所

讀賣新聞 ·HAKUHODO ·

### Innovation Garden概要

3つの世界最先端の海外カンファレンスが創造的に融合した クリエイティブな体験を通じて日本流イノベーションカルチャーを育成・発信する 博報堂プロデュースのビジネス・イノベーション・カンファレンス

### Innovation Gardenの特徴

①「イノベーションを導くA-B-Cの庭」の体験 スピーチ・ワークショップ・体験コンテンツ ②参加者をつなぐ「東屋」→ "気合う"日本流マッチング
③世界同時オンライン開催 → ポストコロナ時代の新しいビジネスカンファレンスのあり方を提案



オーストリア・リンツで毎年開催される テクノロジー・アート・社会の関係をテーマにした

創造的な「問い」を生み出すアートシンキングが特徴のフェスティバル

### BORDER SESSIONS

=実験の庭

オランダ・ハーグで開催される 「あらゆる境界 (Border) を超える」ことをテーマにした 社会の仕組みを変える社会実験を提案するカンファレンス



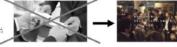
=実装の庭

カナダ・モントリオールで開催される クリエイティビティとコマースの融合をテーマにした 創造的なビジネスマッチングが特徴のビジネスカンファレンス



### =日本流「気合う」マッチング

日本人のシャイネスを乗り越えつつ 日本的な出会い=「気合う」をクリエイティブに演出 コンシェルジュによる「仲介」も実施



\*禁の窓

着想の座

AZUMAYA

.....

実験の庭



### Innovation Gardenのメインターゲット

大企業のCクラス以上を中心とする「イノベーション難民」 (新規事業創造やイノベーション開発に課題を抱えながら具体的なソリューションを持たない人)

### Innovation Gardenの意義

2020年の東京から 新しいビジネス カンファレンスのかたちを発信





既存ビジネスカンファレンスにない クリエイティブな"気合う"マッチング



世界最先端のイノベーション思想を 日本にいながら体験できる

ARS ELECTRONICA









Cクラス以上の



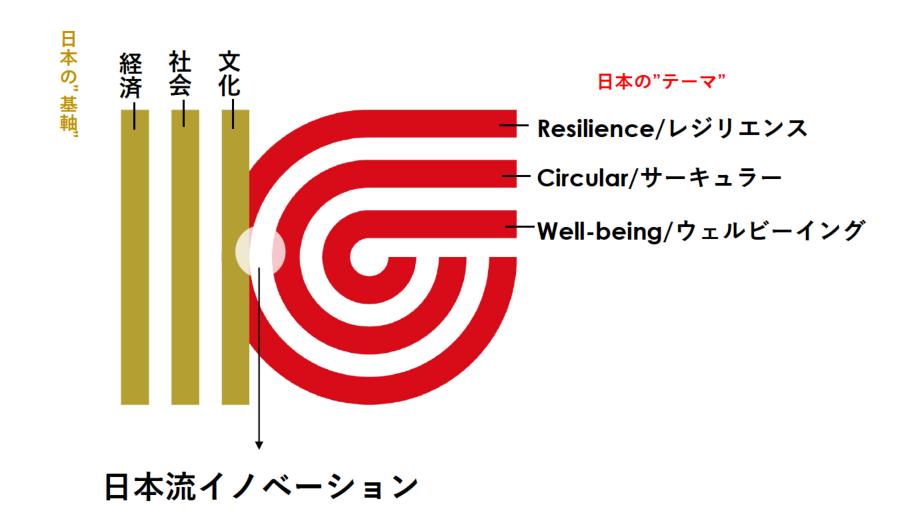
# <ロゴマーク>



### ロゴマーク制作の発想プロセス

- INNOVATION GARDENの頭文字「IG」をベースに意匠化。
- 枯山水をモチーフにした三本線の砂紋。 「I」の直線と「G」の曲線で異質のもの同士の交わりを表現。
- 日本の伝統色である黄金(錆びず退色しない色)とJAPANレッドを 配色することで、イベントのプレミアム感を印象付ける。





# <ロゴマーク>



世界なんて、あっという間に変わる。

今や世界中がそのことに同意するだろう。

これまでの正解は通用しない。

新たな秩序を構築し直す必要がある。

答えは誰も知らない。

しかし、世界がこれほど答えを求めている時代もない。

新たな価値は、いつも異なる知のぶつかり合いから生まれる。

用意したのは、創造的カオス。

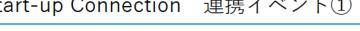
3つの世界最先端のクリエイティブ・カンファレンスを招聘。

正解のない問いへの議論を巻き起こし、イノベーションを模索します。 ぶつかり合い、混ざり合い。

そこで生まれた波が、次の時代へ進む答えを運んでくるだろう。

日本流のイノベーションカルチャーがここから始まる。







# <概要>



### COMMUNICUBATION

(COMMUNITY+INCUBATION=共同孵化)







第一回のキックオフから生まれた絆やつながり=種が「芽吹く/生まれる」。 コミュニティを通じた様々な「共創」のあり方が未来をつくるイノベーションのエコシステムへ。

### 形態

### 【日時】

2/26 (金) 10:00-22:00

### 【形態】

- ・キーノートは 基本事前収録したものを配信
- ・ワークショップ/マッチングは 当日実施
- ・その後もオンデマンドで3/26 (金)まで視聴可能 (SLACK/Youtube)

### コンテンツ

### 有識者によるキーノート



海外カンファレンスによる エクスクルーシブなワークショップ



オンラインマッチング



J-Startup

### 会場

### 収録会場:3×3lab(大手町)



配信会場: micro (有楽町)



# <キーノート・ラインナップ>

IG:その思想と楽しみ方





IG事務局

映像-DX-ヒューマニティ -日本流イノベーションの未来-



(第四次産業革命センター)



(パノラマティクス)



佐渡島隆平 (safie)

エデュケーションとイノベーション



Life is Tech!

アートシンキングとデザインシンキング

ARS ELECTRONICA
Art, Technology & Society



ポストコロナの クリエイティブ・ビジネス戦略

**BORDER SESSIONS** 



W nextnature network

宇宙ビジネスとクリエイティビティ





ispace stroscale

超高齢化社会における「やさしいDX」

Suntory Wellness





沖中直人

クリエイティビティとまちづくり

🙏 三菱地所



MOMENT FACTORY Moment Factory



10年目の3.11に考える「情報防災」

讀賣新聞



ジャック・アタリ

ネクスト・クールジャパン戦略と ヘルスケア

MITSUFUII



日本流サーキュラーエコノミー











ビジョンプロトタイピングと 新規ビジネス創造

🔪 Q U A N T U M



本広克行

# <タイムテーブル>







2/26 (金) 10:00-22:00オンライン配信。約600名の参加者と、国内の30名を超えるイノベーターが登壇。 事前収録のキーノートを配信、登壇者がリアルタイムチャットで参加するインタラクティブな演出を採用。 また海外のカンファレンスメソッドによるオンライン上でのワークショップを実施。 アーカイブを1ヶ月間配信し事後でも視聴や参加者同士がマッチングが可能な環境を提供した。



### ●12のイノベーターキーノート



### ●3つのワークショップ



<第2回IG 参加実績>

登壇者 参加者

31名 633名

視聴数

1,819再生

マッチング

<u>属性</u> マネージャー以上

170件

**34**%

※2021.03.05時点

# <実績:キーノート視聴者数>









<ランキング>

総視聴数1,819再生

# <実績:キーノート演出/オーバーライン化>

オンラインイベントにリアルタイム性やインタラクティブ性を取り入れるため、 Eventhubのチャット機能を活用し、登壇者の生の声を参加者に届けることが可能に。 参加者と登壇者がチャットを通じて質問やコメントのやりとりを行った。

コロナ禍を通して感じるのは、「わざわざ集まる」価 値の大切さです。となれば「その場でしか味わえない ものしでなくてはいけないと思います。ゆえに、当た り前ですが、ライブであることこそが重要。ただし、 ライブをするにはその瞬間までの時間を余計にかけな いと駄目なので、準備の重要性があがってくるんだと 思います。

特に、コロナ以降、インターネットが使えない

人は、実用面でも不便だったわけですが、それ

に加えてメンタル面でも孤立しておられる、こ

れを何とかしないといけないと思ったのです。



斎藤精一 (パノラマティクス) あと、新しい時代には、カネ・ヒト・モノの集積では なく、風・光・緑の集積であってほしいと思います。



小西利行 (POOL inc)

幅広く活動するようになったきっかけ...難しいですね・・ 元々小説や音楽や数学や社会や...多彩な世界が好きではあり ました。若い頃は何か専門を深掘りしたいと思っていました が、特に娘が生まれて社会との関わりをより考えるようにな り、点と点を繋げる面白さに気づくようになったかも。あと は、やはり素の自分の声を聴くという感じでしょうか...



若宮正子 (ITエヴァンジェリスト)



中島さち子

これは私の私見で、政府・経産省としての方針ではな いのですが、世界の最たるエイジングソサエティーと しての我が国が(少子)高齢社会において、社会をど うデザインしていくか。こういったところにアプロー チするような企業・技術には注視していますし、世界 と戦えるポテンシャルがあると思います。



板橋優樹 (経済産業省)

ちなみにこの収録は実はカメラをとめたあとのアフ タートークがとっても盛り上がったんですよね。この セッションをきっかけに、新しいビジネスや経済が生 まれてくるのに期待ですね!



清水佑介 (博報堂ケトル)

# <「2050年カーボンニュートラル」に向けた取組を発信するイベントと連携 (Co-living with Planetary issuesのテーマにも合致) >



日本の投資環境の魅力や「2050年カーボンニュートラル」に向けた取組を発信することを目的に開催。

本イベントのメインプログラムでは、世界を 代表するリーダーによるオンラインパネル ディスカッションを実施するなど、世界中の 知恵を結集させ、「経済と環境の好循環」を 実現するカーボンニュートラルへの挑戦に関 して、最新の潮流を発信。

### イベント概要

\*タイトル: NET ZERO Leaders Summit (Japan Business Conference 2021)

\*日程:2021年7月28日(水)~9月10日(金)

\*主催:経済産業省、独立行政法人日本貿易振興機構(ジェトロ)

\*オンラインで開催

# <J-Startups for NET ZERO:オンラインイベント概要>

### **Japan Business Conference 2021**



# < J-Startups for NET ZERO:プログラム>

PROGRAM DAY 1				PROGRAM DAY 2						
開会メッセージ 8-03-48~	超消疫某人足政務区 宗清 皇一				Spiber株5会社 管原 潤一	日本環境801株式会社 岩元 美智彦	マイクロ液化学株式会社 吉野 巌			
基調議演 NET ZEROとStartup -ユーグレナが描くサステナブルな未来・	株式会社ユーグレナ Chief Future Officer	横式会社ユーグレナ		J-Startup for NET ZERO ピッチセッション	テレイグジスタンス株式会社 富岡 仁	株式会社チャレナジー 清水 敦史	森式会社ファームシップ 北島 正裕			
0:09:09~	川崎レナ	出雲 充		「j-Startup」の選定企業10社 0:02:37~	SyncMOF株式会社 畠岡 潤一	mui Lab株式会社 大木 和典	株式会社ヘラルホニー 大田 雄之介			
<b>バネルディスカッション</b> 日ものスタートアップ・エコシステムは 世界に貢献できるか	Playco Global, Inc. 州馬線軍・ブレジテント Zynga 州馬線軍 ジヤステイン・ウオルドロ	Xenon Partners cto ジョナサン・シーゲル	Head of Google Startups Japan ティム・ロメロ (モデレーター)		株式会社ALE 岡島 礼奈		, (and (min/a))			
VCセッション VCの語も日本スタートアップ・エコシス	ン	Mpower Partners			"日本のイノベーティブ大企業ランキング" について Innovation Leaders Summit 松谷 卓也					
テムの場在力 1,20:33~	代配いたナー本間 真彦	マネラル・パートナー キャシー 松井		リバースピッチ スタートフップ企業が選ぶ ・ロキのイノペーティア大企業ランキン グ±位5社*	KDDI株式会社   Woven Planet Holdings    サ東部連車部ビジネスインキュペーション推進部   インキュペーション推進が   大ションページョン推進・ブルー・ブリー・ブリー・ブリー・ブリー・ブリー・ブリー・ブリー・ブリー・ブリー・ブリ		会社			
			0:38:24~	ソニーグループ株式会社 Sartino Accessation Eff MatiPila Sony Sarting Accessation Program属任名 小田島 伸至	株式会社NTTドコモ・ベンチャーズ 代表別時代に長 笹原 優子					
				閉会メッセージ 01:38:56~	プロソン大学 事業 山川 恭弘					

※本ページにおけるピッチセッションには「J-Startupプログラム」のみではなく「J-Startup地域展開プログラム」に選定された企業も含みます。

# 開会メッセージ



経済産業大臣政務官

宗清 皇一

# 基調講演

NET ZEROとStartup -ユーグレナが描くサステナブルな未来-



株式会社ユーグレナ **Chief Future Officer** 川﨑 レナ



株式会社ユーグレナ 代表取締役社長

出雲 充

# **パネルディスカッション** 日本のスタートアップ・エコシステムは世界に貢献できるか



Playco Global, Inc. 共同創業者、プレジデント Zynga 共同創業者 ジャスティン・ウォルドロン

Xenon Partners CEO ジョナサン・シーゲル

Head of Google Startups Japan ティム・ロメロ (モデレーター)

# VCセッション VCの語る日本スタートアップ・エコシステムの潜在力



インキュベイトファンド(株) 代表パートナー

本間 真彦



Mpower Partners ゼネラル・パートナー

キャシー 松井

# J-Startup for NET ZERO ピッチセッション

「J-StartupもしくはJ-Startup地域展開プログラム」の選定企業10社



Spiber(株) 菅原 潤一



日本環境設計(株) 岩元 美智彦



マイクロ波化学(株) **吉野 巌** 



テレイグジスタンス(株) **富岡 仁** 

# J-Startup for NET ZERO ピッチセッション

「J-StartupもしくはJ-Startup地域展開プログラム」の選定企業10社



(株)チャレナジー **清水 敦史** 



(株)ファームシップ 北島 正裕



SyncMOF(株) 畠岡 潤一



mui Lab(株) 大木 和典

# J-Startup for NET ZERO ピッチセッション

「J-StartupもしくはJ-Startup地域展開プログラム」の選定企業10社



(株)ヘラルボニー 大田 雄之介



(株)ALE 岡島 礼奈

# リバースピッチ

スタートアップ企業が選ぶ "日本のイノベーティブ大企業ランキング上位5社"



"日本のイノベーティブ大企業 ランキング" について

**Innovation Leaders Summit** 

松谷 卓也



KDDI(株) 事業創造本部 ビジネスインキュベー ション推進部 インキュベーション 推進2グループ グループリーダー

内田 恭子



Woven Planet Holdings(株) Vice President

西城 洋志

# リバースピッチ

スタートアップ企業が選ぶ "日本のイノベーティブ大企業ランキング上位5社"



JR東日本スタートアップ(株) 代表取締役社長

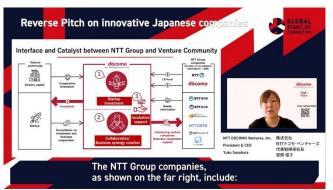
柴田 裕



ソニーグループ(株)

Startup **Acceleration** 部門 副部門長 **Sony Startup Acceleration** Program責任者

小田島 伸至



(株)NTTドコモ ・ベンチャーズ 代表取締役社長 笹原 優子

# 閉会メッセージ



バブソン大学 准教授 ベンチャーカフェ 東京代表理事 CICジャパン プレジデント

山川 恭弘

# MC



木村 カレン

# < J-Startups for NET ZERO:事務局対応>

・オンライン収録およびリアル撮影にて素材をまとめて、オンラインイベント用コンテンツに。

	タイトル	出演者	状況	尺	
開会メッセージ		宗清皇一 経済産業大臣政務官	撮影済み	5分	
基調講演	NET ZEROとStartup ーユーグレナが描くサステナブルな未来ー	ユーグレナ Chief Future Officer 川崎レナ 氏 ユーグレナ 代表取締役社長 出雲 充 氏	撮影済み	20分	
パネルディスカッション	日本のスタートアップ・エコシステムは 世界に貢献できるか	<パネリスト> Justin Waldron 氏(Zynga共同創業者 Play Co) Jonathan Siegel 氏(Xenon Partners CEO) <モデレーター> Tim Romero 氏(Head of Google for Startups Japan)	撮影済み	50分	
VCセッション	VCの語る 日本スタートアップ・エコシステムの潜在力	本間真彦氏(インキュベイトファンド)	撮影済み	各10分	
		キャシー松井氏(MPower Partners Fund L.P.)	撮影済み		
	カーボンニュートラル実現に取り組む J-Startupsが世界にプレゼン ※「J-Startupプログラム」のみではなく「J- Startup地域展開プログラム」に選定され た企業も含む	Spiber	撮影済み		
		日本環境設計	撮影済み		
		マイクロ波化学	撮影済み		
		テレイグジステンス	撮影済み		
-Startup for NET ZERO		チャレナジー	撮影済み	各5分	
: ピッチセッション		ALE	撮影済み		
		ファームシップ	撮影済み		
		SyncMOF	撮影済み		
		mui Lab	撮影済み		
		ヘラルボニー	撮影済み		
日本企業からの連携コール : リバースピッチ	日本のスタートアップが選ぶ 「イノベーティブ大企業ランキング」 上位のプレゼン	大企業ランキングの説明: Innovation Leaders Summit 松谷 卓也氏	撮影済み	各5分	
		KDDI 事業創造本部 ビジネスインキュベーション推進部 インキュベーション推進2グループ グループリーダー 内田恭子氏	撮影済み		
		Woven Planet Holdings Vice President 西城 洋志氏	撮影済み		
		JR東日本スタートアップ 代表取締役社長 柴田裕氏	撮影済み		
		ソニーグループ Startup Acceleration部門 副部門長 Sony Startup Acceleration Program責任者 小田島伸至氏	撮影済み		
		NTTドコモ・ベンチャーズ 代表取締役社長 笹原優子氏	撮影済み		
閉会メッセージ	日本のスタートアップエコシステムへの招待	山川恭弘氏 (バブソン大学 准教授)	撮影済み	10分	
	オープニング/クロージング/各登壇者紹介	MC	撮影済み	_	

(3) 国際的に評価の高いスタートアップカンファレンスとの連携等

### <3つの世界最先端の海外カンファレンスと連携>

Austria

# 일을 ARS ELECTRONICA



Ars Electronica

オーストリア・リンツ市を拠点に、過去40年以上に渡り、「先端テクノロジーがもたらす新しい創造性、アートと社会の未来像」を提案し続けている世界的なクリエイティブ機関。

## **BORDER SESSIONS**



**Border Sessions** 

2011年よりオランダの第三都市であるハーグ (Haag) で開催されている欧州最大規模 (最先端) の"社会実験場"として認知されている国際的なイベント。





C2

Netherlands

クリエイティブ界のダボス会議とまで評される斬新で刺激的な没入型コンテンツや共 創プログラムを生み出し続けているクリエ イティブ・カンファレンス集団。

( Canada

### <コミュニティでの海外カンファレンスとの取り組み>

パートナーの三菱地所と協業により"Creative City"をテーマに新木材CLTのPRと大丸有エリアのイノベーションシティ化構想とともにコミュニティでの海外カンファレンスとの取り組みも積極的に実施。





### <コミュニティでの海外カンファレンスとの取り組み>

#### 活動報告②

BORDER SESIONSによるオンラインコミュニティイベントを開催





世界のクリエイティブシティの事例をインプットし、 街とアートの関係性を紐解いた後に、 日本流のクリエイティブシティの在り方を著名ゲストがトークセッションを。 大丸有で「クリエイティビティが生まれる」ためのヒントを議論。

#### 活動報告③

C2によるオンラインコミュニティイベントを開催





C2の拠点であるモントリオールでの実績をインプットし、 その後に、日本におけるクリエイティブシティのアイデアを参加者が一体となって、 ディスカッションし、アウトブットまでを実践。 ※今後、三菱地所様とC2ゲストとのオンラインMTGの場も設定予定。

7

### ①J-Startupブースの設置/②J-Startup企業等によるピッチイベント

オンライン上にてJ-Startup企業によるブース設置やピッチイベントを実施。 海外カンファレンスや国内大手企業などとのセッションもオンラインにて展開した。







会區室政策企商参享

### ③オープンイノベーションを目的としたマッチングイベント

ABC海外カンファレンスのメソッドによるオンラインのマッチングイベント(ワークショップ)を実施。

#### **Ars Electronica**

①松島 倫明(『WIRED』日本版編集長) ②小川 秀明(Director of Ars Electronica Futurelab) モデレーター:竹内 慶(博報堂BID)



#### <u>テーマ/議論内容など</u>

"Future Tourism ―ポスト・コロナ時代のツーリズムとは?"

旅や移動を巡る私たちの状況は昨年以降、大きく変わりました。新しい日常における未知の世界への旅の方法、新しいツーリズムについて議論し、ワークショップを通じて考えます。

#### **Border Sessions**

**3名の海外からの映像によるインスピレーション** Libertad González/ Vladan Joler / Robin R.Murphy



#### <u>テーマ/議論内容など</u>

「Resilience」防災を取り入れた新たなライフ スタイル

10年目の3月11日を機会に見直すべきライフスタイル、日本が世界を牽引すべき分野である「BOSAI」。 人々のライフスタイルに取り入れるべき防災のあり方を 議論し、ワンテーブルが提唱するスーパー防災都市を 実証フィールドに新たなライフスタイルを落とし込む。 防災に関するリーディングプレーヤーが参加し議論をした。 (Onetable 島田昌幸、BOSAI POINT 亀山、インフォ リッチ 梶、インフォデミック 牧、トイレ研究所 加藤所長、マグネット 佐藤)

#### C2

Jesse Gainer(ジェシー・ゲイナー) C2インターナショナル 体験デザインディレクター



#### テーマ/議論内容など

"Limitations Reimagined"「限界を考え直す」

参加者の皆様のビジネスにおいて、何が本当に「限界」を表しているのかを考えていただきました。こうした「限界」を考え直すことを通じて、いくつかの制限の背後には創造的で刺激的な新しい「可能性」を発見する無限の機会があることに気づくことができました。C2の「限界を再想像する」事例により勉強に加え、C2のオリジナルのコーチング・コレクティブ・メソッドを使用して、参加者が個人とビジネス上の課題との関係を再構築することができました。

### 4会場の選定等

オンラインの収録会場、および配信会場として大丸有エリアの会場を選定した。

<収録会場> 3×3 Lab Future(大手町)





<配信会場>
micro FOOD&IDEA market(有楽町)





(4) パンフレット等の製作

### <SEEDS OF INNOVATION GARDEN>

登壇いただいたイノベーターたちの発言をまとめて電子パンフレット化。



### <SEEDS OF INNOVATION GARDEN>

登壇いただいたイノベーターたちの発言をまとめて電子パンフレット化。



(5) 特設ホームページの制作

### <オフィシャルサイト>



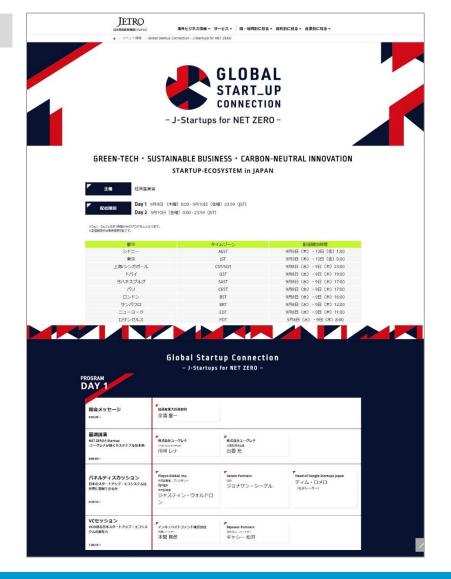


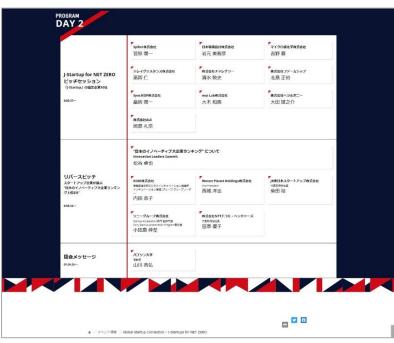
### <オフィシャルサイト>



### <ティザーサイト>

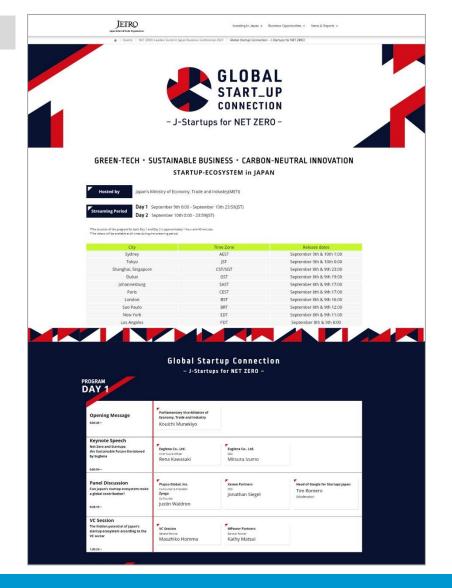
### 日本語

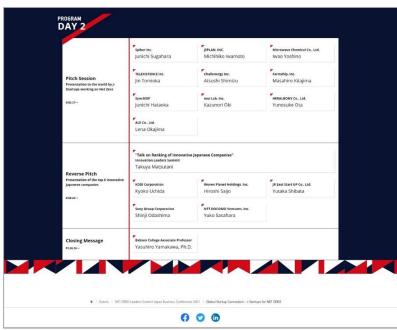




### <ティザーサイト>

### 英語





(6) 広報活動

### <事前>

読売新聞/三菱地所のオウンドメディアをフル活用。広報露出KPIを大きく上回る露出をした。

#### ■三菱地所 オウンドメディア

#### ▽地所サイネージムービー (タテ/ヨコ)



#### ▽地所社内用告知ムービー



#### ▽地所A1ポスター



▽チラシ(地所/読売)



▽新有楽町ビル



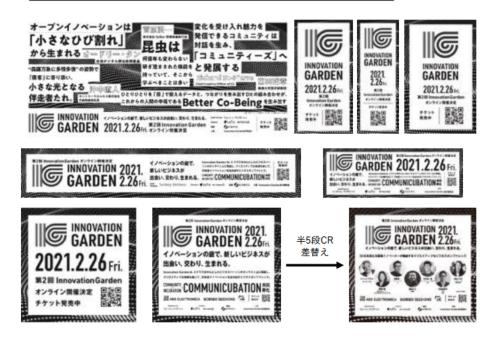
▽大手門タワー・ENEOSビル



### <事前>

#### ■読売新聞

▽読売紙面広告(つかみ:5D/H5D/2D/H2D/突き出し)



#### 2021/2/1





#### ■読売新聞



#### <読売新聞掲載>

#### ●小枠

- 2月 2日(月)付朝刊TV面右突出し
- 2月 3日(火)付朝刊一面中央突出し
- 2月 4日(水)付夕刊一面左突出し
- 2月 6日(土)付朝刊―面左突出し
- 2月11日(木)付朝刊—面中央突出し
- 2月11日(小)刊初刊 岡下大大山し
- 2月13日(土) 付夕刊一囲左突出し
- 2月10日(火)何夕刊一山左突出し 2日10日(今) 仕々刊 一面左宛山!
- 2月19日(金)付夕刊一面左突出し

#### ●記事下

- 2月1日(月)5d1/2モノ(東京7面・中部19面)
- 2月4日(木)2d1/2モノ(中部29面)
- 2月6日(土)5d(北海道7面)
- 2月7日(日)5d(中部23面·北陸23面)
- 2月8日(月)5d1/2(東京21面)

広告換算 ¥53,139,000相当 (定価換算)



#### ■リリース配信



カテゴリ	件数	広告換算額
リリース①(1/26配信)	22	¥6,353,522
リリース②(2/12配信)	28	¥9,235,443
合計	50	¥15,588,965

# 合計広告露出換算:7,000万円超

(博報堂によるKPIは2000万円相当)

#### \*広告換算とは:

新聞、雑誌、屋外広告、WEBニュースサイトなどのメディア上で「記事」として掲載された際の露出成果や認知効果を同じ枠を広告として購入した場合の広告費に換算し、その金額で評価するという広報・PR業務における成果測定手法。

### <事後>

事後でのイベントサマリーを紹介することで、スポンサーメリットの向上及びアーカイブ視聴数増を促す。

#### **▽NewsPicks**



都市開発におけるDXとは「総合的なDX」でないと 意味がない。

Innovation Garden実行委員会 © 2021年03月01日



●配信期間:3/1(月)10:00~3/10(水)24:00

●消化期間:5日~10日間 ●保証vimp:75,000vimp

\*vimp (ビューアブルインプレッション)
→実際にユーザーが閲覧できる状態にあったWEB広告の表示回数のこと

#### ▽読売新聞 東京版15段(3/15週掲載)



# <事前>

Googleディスプレイ広告(GDN)によりGlobal Startup Connectionの告知バナーを掲載



GDN\_336x280



GDN\_300x250